

令和6年度 第3回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月17日（木）13時45分から15時35分まで
ただし、14時10分までは授業参観
- 2 開催場所 水窪中学校 ランチルーム
- 3 出席委員 柳田 温、塩崎 正敏、山本 功、田中 裕彦、金田 和代、高木 圀乃
西岡 小百合、石本 駿輔、高木 幸代、三石 卓
平澤 文江
- 4 欠席委員 牧内 真美、高木 学
- 5 学 校 加藤 雅嗣（水窪中学校長）、鈴木 成幸（水窪小教頭）、梅田 研（水窪中教頭）
内山 由紀（CS ディレクター）

6 傍聴者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 内山 由紀

8 議長の選出

司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異義なくこれを承認した。

9 協議事項

（1）授業参観の感想 （3つの視点から）

（2）学校評価について

（3）地域人材の活用について

10 会議記録

司会の平澤委員から、委員総数13人のうち11人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認について

水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。

（2）授業参観の感想 （3つの視点から）

授業参観前に水窪中教頭より、生徒の様子、授業の雰囲気など、1学期の授業の様子と比べてどうか、また、話し合いなど他者と意見交換をする場面で、自分の考えや思いなどを相手に分かるように伝えることができていたか、話し合いなど他者と意見交換をする場面で、自分とは違う考えを受け止めようとして理解しようとしていたか、という3つの視点で参観してほしいという話があった。参観後、委員からは以下の発言があった。

・子供たちと先生がお互い意見を言い合って、子供同士も問題点について意見を言って、和気あいあい、マンツーマン的ないい雰囲気だった。各学年、教室の道德の掲示では、お互いの意見を聞き、相手を思う言葉があったように思う。子どもたちは、お互い気を使いながら、社会の中でも相手のことを考えているのではないかと感じた。（圀乃委員）

・前回より、1年生がそれぞれ意見を活発に出し合っていた。道德の掲示があったが、以前は、多少きつい言葉を言っても受け止めるという気持ちが大きかった。今は、相手の気持ちになり、相手がどういう人間であるかまず確認しないとイケないから、掲示の中を見ていて大変だなと感じた。（塩崎委員）

・自分たちの時代と違ってパソコンなど、進化していったと感じる。少人数で、先生との触れ合い方を見ていても、上から目線で先生が話すのではなく、お互いの目線で話していた。こういう授業を受けると僕たちもよく育ったのになと思った。授業を見ていても、先生と生徒のコミュニケーションができています。(山本委員)

・1学期と比べて授業を受ける姿勢が成長していた。落ち着いて授業を受けられていた。周りの人の意見をしっかり聞いて話すというのが上手にはなっていると思うが、今の時代、そればかりやっても・・・というところがある。もう少し自分を出して、意見できるようになっていくのも大事なかなと思う。意見が引き気味すぎて、もう少し自分を主張してもいいかなという感じは受けた。(三石委員)

・1年生は、少し緊張がある様子で、3年生になるとだんだん自分の意見が言えてくるのかなと思った。先生が頭ごなしではなく、生徒の進行度に合わせて授業を進めて、理解できるようにやっている。考える力は、大人数の学級でやるよりはつくのかなと感じた。(石本委員)

・少人数を生かした教え方はできていると思った。広い校舎に埃が一つもなかった。自分が会社勤めをしていたころは、5Sということをよく言われた。整理、整頓、清潔、清掃、躰で、5Sである。躰まで行き届いていると感じた。(柳田委員)

(3) 学校評価について

水窪小教頭より、別紙資料に基づき学校評価アンケートについて説明があった。各項目で、文言も含めて保護者に伝わっているのかどうか、答えやすくなっているのか、目標と評価にあっているのか、付け加える項目があれば御意見をいただき、学校でも検討したいということ、また、本年度は、いじめの対応の取り組みについても入れていきたいと思っているという話を受け、委員からは以下の発言があった。

・「さ」「く」の棲み分けがよくわからない。以前から、先生たちも頭を悩ませているという話は聞いている。うまく、整理できるといい。(平澤委員)

・あいさつで、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」とお互い言葉を交わしあうと温かい気持ちになる。以前はあいさつができていたが、この頃寂しいと感じる。朝、子供が集まって登校するときも、全員が「おはよう」と言っているわけではなく、言わない子もいる。「おはよう」という言葉をかけると次に話もつながり、元気で行けるのではないかな。(園乃委員)

→項目としては入っているが、例えば「自分から進んで」という言葉を入れるなど。(柳田委員)

・「み・さ・く・ぼ」に分類できなかったものが、用紙の下半分の設問になっているのか。(平澤委員)

→「み・さ・く・ぼ」の項目にプラスして学校であえて聞きたいこと、評価して取り組みを確認していきたいものを下半分に入れている。(水小教頭)

・小学校の様式は紙で書き、中学校の様式はwebで回答するようになっているが、両方できるのか、紙のみ、webのみなのか。(田中委員)

→小学校は紙だけで出している。本年度は未定であるが、グーグルフォームで出す可能性もある。両方で渡すことはない。(水小教頭)

→児童は、グーグルフォームで問題はないと思うが、保護者地域の方になると、web上で回答できる人は少ないかなということではないか。(平澤委員)

→地域の方なら、紙しかないのかなと思う。保護者までは、大丈夫だと思う。(田中委員)

→地域の方々というのが、これまでは学校評議員等限られた方々にお願いしていた。それがCSに変わっているので、CS委員の方に用紙を送り、やっていただきたい。(水小教頭)

→中学は、やっていただきやすい、回答しやすい方法にしたいと考えている。(水中教頭)

・委員の方たちから、答えられない設問がけっこう多いというのが、毎年この時期になると意見として出る。思いを堂々と伝えているかどうかは、授業を見ればわかる。学びを振り返り、次に生かすことができているかに関しては、なかなか難しい。児童・保護者については、入れるわけにはいかないが、わからないというような回答をつけていただくと答えやすい。そうすることで、地域の人には本当は見せたいけれど、見えていない部分だということが学校でわかり、教育活動に変更を加えたりできるのではないかな。(平澤委員)

・学校の休み時間で、友達と話しをしているかという項目があると、友達付き合いができているか、生徒同士のつながりがあるのかが確認しやすいのではないかな。話しができていない子がいれば、仲間はずれになってしまっているといった兆候をつかみやすのではないかな。そのような質問があってもいいのではないかな。(三石委員)

・小学校のほうで、みんなと活動する子の項目の中に「自分の役割を果たすことができましたか」という質問がある。問われたときに、自分の役割が何か、わかりにくいかもしれない。抽象的で、広い範囲で捉えられる言葉なので、具体的に係りの仕事だとかそのような文言を加えると小学生にはいいのではないかな。追加の情報を加えると子どもたちが理解できるのではないかな。(石本委員)

→低学年は、担任が説明しながらやっていくと思う。表記のことについては確認する。(水小教頭)

→保護者の方でも、子どもの役割って何か、わかっていない場合もあると思うので、係りの仕事をやっているなど補足があるといい。(石本委員)

・スマホに夢中になって、外で遊ばない、体力低下という統計も出ていた。親御さんもそのあたりを気にしているのではないかな。(柳田委員)

→スマホといった生活的なことに関しては、毎月小学校では生活アンケートをとっていて、その中にいじめや人間関係も含めて、項目をたててやることも多い。(水小教頭)

・今の子は小さい時から、動画を見せておけば静かにいられるからと親が渡す、泣き止まないからスマホ、動画を見せるというのが現状になっている。大人との会話も少なくなっているのは感じる。目が悪い子は多いかなと実感している。(山本委員)

・そのあたりが、親から意見がどれくらい出てくるか注目していきたい。(柳田委員)

(4) 地域人材の活用について

柳田委員より、新たに協力できることやこういった活動ができるという提案やアイデアを募集し、先生やコーディネーターと相談してやっていきたいという話があった。配布資料の「提案やアイデア記入用紙」について、書き方や期限等の説明があり、委員からは以下の発言があった。

・本人に確認をするのか。CSとして提案するのか、個人個人で話しをしきって、提案するのか。(塩崎委員)

・許可をとらずに書いていただき、必要に応じてコーディネーターのほうで連絡する。記入用紙は、書ける範囲で構わない。(平澤委員)

・学校で、このような活動をしたいと相談したときに、こういう人がいるというのを出示してもらって、つなげてもらうのがありがたい。人材が集まるとありがたい。(水小教頭)

・地域の中だけに限らず、知り合いの人、水窪に来てくれそうな方がいれば、書いていただきたい。
(平澤委員)

その他連絡事項

・水窪中校長より、別紙資料に基づき、令和6年9月以降の部活動地域移行について、説明があった。
・水窪小教頭より、学校教育に関するアンケート、運営協議会自己評価、運営協議会委員の任期について説明があった。

・向市場の倒壊現場だが、学校の通学路である。役所に言って、道路にこないよう対応してほしい。子どもたちが通学しているときに、上から降ってきた等、事件事故になる。本町と小畑にもそれぞれ一軒、そのような状態のところがある。そこだけは、きちんと把握して子どもたちの安全を守っていただきたい。今年は今になって、スズメバチの巣ができてくるようになった。今までの巣は、スプレーで対応できたが、スプレーを巻いても、1週間ハチが通っている。ハチを見かけたら、役所等に連絡してほしい。茶畑が一番多い。草刈りのときや、タイヤの空間、外の引き出しの中等、気をつけてほしい。峠の国盗り綱引き合戦が27日に行われる。(山本委員)

→向市場の倒壊家屋だが、朝、生徒が登校するときは職員が行って、見るようにしている。(水中校長)